校友時報

昭和43年3月1日
編集人兼発行所
秋田県能代市逢分町4番26号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 大勝堂印刷所

伸びよ若い芽

第二十回卒業式本日挙行

厳しい冬の寒さも柔らぎ、暖かい春の日ざしが差し込もうという今日このころ、例年のごとくこの時期になると受験、あるいは卒業というように何となくあわただしくなるが、本校の卒業式は本日、十時より本校体育館において挙行される。昨年もそうであったが国立一期校などの試験のため、出席できるのは三百七十五人中、百九十八名しかおらず残念はあるが試験のためだから、やむを得ないだろう。卒業式の次第は例年とほとんど変わらないが、今年も次の体操部五名に部体連賞がおくられる。長年にわたって体操部代の名を全国にとどろかせ、本年度も全国高校第二位の輝かしい成績をあげた努力は賞賛される。

○高校体育連盟賞（体操部）
森岡俊明、辻誌朗、石川博
中村栄喜、石田幹久

また、三年間の努力の賜物である皆勤賞は次の三十六名に授けられる。

三年A組
小川潤一、須藤幸紀、佐藤文隆
高木哲夫、袴田忠夫、原田長義
大柄勝義

三年B組
落合彰、檜森正美、高堰茂

三年C組
安田誠、斎藤孝一、戸松和孝
吉武孝夫、山城信義

三年D組
伊藤和男、小川正基、保坂恭章
船出茂、須藤新一

三年E組
高橋秀行、菊地政悦、東海林茂
畠山政隆

三年F組
伊藤勝一、石橋純一、山田真朗

三年G組
石川博、尾張久男、長谷部昭光
児玉健、本多健悦、原田秀樹
伊藤洋文、田村六夫、能登康博

これから大学生活に入るもの、社会にでるものとその進む道は異なるが、今までの三年間の努力や経験を生かして、よりりっぱな人間に成長することを期待する。

部説

毎年一般生徒の生徒会への無関心ということがくり返し叫ばれている。生徒会は全校生徒の上に立脚しているものであるから、生徒一人一人がそれぞれ自覚を持って生徒会に盛り上げていくようにしなければ、一部の役員、生徒だけがいくら頑張っても決して活発な生徒会となり得るものではないということは周知のはずである。

「はたぜこのように下からの盛り上がりというものが少ないのであろうか。それにはまず生徒会の機構、活動内容があまりに知らなさすぎるということがあられるのである。そのため必然的に前例に従って実践せざるを得なくなる。このような事は誤りだためだろうなという弱気を抱く年生が中心となって行くべきであってもっと積極的に働きかけるべきである。

ところで、生徒会活動は毎年二月に行なわれる前期の役員選挙に始まる。ここで一つ問題となるのはこれを境として現在の二年生は実質的に手を引いてしまうということである。このような慣例は他校においてもなく、本校にも一昨年までは並び立ちならぶものがあるが、これ以外は全くの〝お客さん〟なのである。ここにも下からの盛り上がりが不足の痛感される。

後期の役員選挙は会則、は九月に行なわれることになっている。

自覚を持って……

これは生徒の中で予餞会に協力する人がたりなかったことに原因がある。また協力者が多かったなら、団体行動が乱れなどはある程度防ぐことができたかもしれない。予餞会はあくまでも在校生一人一人が卒業生一人一人を送る会であり、それが団結してそ目的を達成できるのである。そのほか菓子を食べることにも問題がある。舞台に投げ込まれるのは、すべてこの菓子から源を発しているのであるから。予餞会終了後の会場の紙くずの山を見た人は、これが良識ある能代高校の生徒の態度かとなげかわしくなる程ひどいものであった。このままの状態では次回からは菓子を廃止、ひいては予餞会廃止ということにもなりかねない。

ここで生徒各自それぞれ自覚しなければならない。生徒会が与えてくれるのを待っているのではなく自らすすんで生徒会に与えるのだということを。今年予餞会のあり方に少なからず不満を持った人も多かったであろう。われわれはもっと積極的に各自の意見を生徒会に反映して、改善して行くべきであると信じる。送られる側の三年生に今回の予餞会の感想を聞いてみよう。「予餞会を催してくれたことは感謝している。しかし送られる者、送る者の区別がはっきりしていないのは残念だった」と述べていた。いずれにせよ予餞会がかかえる問題は多い。

三年生もこうなればかわいいもの。

天からお菓子の雨
―予餞会―

三年生を送る予餞会は去る二月十日体育館で例年通り開催された。計画では十時三十分から十二時十五までであったが、準備が完全でなかったことなどにより終了時間が大幅に延び一時十分頃終了した。予餞会は在校生に迎えられて卒業生が入場、全員入場した後、在校生を代表・石山生徒会長のあいさつ、記念品の贈呈がありそれから卒業生を代表して佐藤元会長が感謝のことばを述べた。次いで余興に移り出力あるブラバンの演奏、一年生有志によるグループサウンズなどが次々に演ぜられ、二時間三十分にわたった幕を閉じた。飛び入り出演が案外少なかったことと、クラスで計画して出場するというのが見られず生徒の熱意の不足がうかがわれた。フォークソングや一年生有志によるマンドリンは非常な好評を博した。

一年生の中では初めての予餞会とあって期待していた人が多かったようであるが、終了後その印象を聞いてみると、あまりよい感想は聞かれず、特に生徒一人一人に問題があるとのことであった。まず、生徒一人、一人の態度がよくなかったことがあげられる。プラバン演奏のときスーザホーンに菓子を投げつけ、演奏を妨げ、また投げられた包み紙によって演奏者がためらう始末である。最初から最後まで菓子や菓子の包み紙がトンボの如く飛びかっていたことや送られる側の三年生が火鉢で紙を燃やすなど例年以上に乱れた態度が見られ、予餞会本来の姿から大きく逸れていた。

団体行動の乱れも目立ち、協力者の少ないのとあいまって会の進行を妨げる一つの原因となった。特に終了後は、在校生は卒業生に別れを惜しむべきであるはずなのにマイクが在校生はすぐさま立ち上がり教室へ向かったせっかくの「聲の光」も騒音と共にはかなく消えてしまった。

遺族の連絡を受けた病院の医師がその人の目に目の悪い人に移植する。目の銀行とは生前、目の登録をしておいた人が死亡した場合に、その人の目を目の悪い人に移植するもので、現在角膜手術によって開眼可能とされ、盲人が全国に約二万五千人いると言われている。

アイバンクに御協力を！

昭和三十九年十月より、能代ロータリー・クラブ国際奉仕委員会の好意で海外交通をしている本校生徒に切手代、その他の援助がなされている。知らないでいる生徒も沢山いるようですが、現在交通をしている生徒、また交通を希望している生徒は英語科の綾隆先生に積極的に相談、そ、英語の実際的活用につとめるようにしよう。

英語の実際的活用を

時評

心の健康

阿部銑一

ある種の精神病者や精神薄弱者は、自分身分の健康状態・精神活動・行動について悩んだり反省したりしないそうである。勿論これらの人々は学校へ通ったりはしていないが、もしいろいろな学科について学習する、例えば英語の単語を記憶しようとしても多分できないだろう。何よりも自己の記憶力が非常に衰えているとか、俺は決定的なスランプに陥っている、などと悩みもがいている。

最近の学生の間にはいろいろ悩みのある人が多いらしい。例えばあせるばかりでちっとも勉強の能率があがらないとか、記憶力がにぶってきたとか、こんどこそ俺はやるぞと思いながらいざとなるとやる気が起こらないとか、親友に裏切られたので人間が信じられなくなったとか、体がけだるくて結核にかかっているのではないかなどとか、俺はだれからも愛されず家出したい、生きる資格がないとか、両親の期待にもそえず何んく無能なんだろうとか……。

ところで一年の大半を医学通いしている慎重な人が多くなってきた。年中からだ具合が思わしくないと言いながらも、案外長生きする。一方頑健と自慢しそいた人が、一度の病気でまいってしまったということも耳にする。前者の方がより健康ようにも思われる。精神の健康についても、毎日何も苦悩を感じないで暮しているよりも、何かに不安を感じたり悩んだりしながら生活する人のほうが、それらに対する抵抗力もついているし、またそれだけ人生をまじめに考え、自己をきびしく見つめ生きかたを深くさぐっている人だと言えないだろうか。やや逆説的だが苦悩に満ちた人ほど心が健康で将来への発展性があるように思われる。

（英語科担当）

学生のみせ

学用品
キムラヤ
はたまち2―5535

鵜点

▼昨年の十二月頃から自立ち始めていた遅刻者数が、冬休み終了後増して来ている。特に予餞会の後は気抜けしているせいか、昨年の十二月当初は百数十名だった遅刻者が、一時は二、三百名にふえあがった。

▼生徒は八時半の予鈴が鳴るまでに、教室に入っていなければならない事になっているが、これを守っている生徒は五能線通学生とバス通学生と少数の本線通学生で、その数は全体の二割弱。残り八割強が遅刻（八時半の予鈴）している。更に、十分後に始業開始のベルが鳴っても、教室に居るのは七、八割。残りの二割が完全に遅刻しているわけだ。▼二年のあるクラスでは、授業開始のベルが鳴ってから四割強に当たる二十数名が悠々と入り込んで来る。そのほとんどが市内の、それも学校付近の生徒である。あきれたことに遅刻する顔ぶれも決っている。中には八時半まで寝ていたり、ひどいのになると遅刻を覚悟で「旅路」を見て来る者もいる。これは遅刻ではなく、悪質な授業妨害者である。遅刻者のため授業開始が遅らせているのに、悠々と当り前の顔をして教室に入ってこられては、不愉快至極である。▼朝早く起きて四十分も前に学校につき、授業を待っている汽車通学生にすまないと思わないのか。少しは良識をわきまえたらよかろう。中にはむさぼるない事情があって遅刻する者もいるだろうが、もう少し学問の場たる教室や教師に対して敬意を表して頂きたい。▼「ただ被は誠実な人だ」といわれなければならない（島田先生記、昨年の巨瀑卒業記念サインより）。遅刻者はこの言葉を良き戒めとして欲しい。またこの事は昨年のように問題になっているのに、風紀委員会はいっこうに取締まらない。風紀部長は委員会を招集して、今後の対策を検討し、打ち出すべきであろう。日頃の停滞をこいつとうにかして頂きたいものだ。

健康を飲もう！
牛乳・コーヒー牛乳・パイゲンC
菅原牛乳店
出戸沼 T2―3851

◇スポーツ用品
◇スポーツウエアなら
能代スポーツ
柳町 T2―4613

正確なメガネ
愛される万年筆
カモヤ
畠町 T2―3740